

遠賀川流域 団体紹介

宮若川づくり交流会

・交流会とは

「宮若川づくり交流会」は、平成13年5月に宮若地区（犬鳴川・八木山川流域）の団体が集って発足され、2カ月に1回の定例会や勉強会を通じて、交流会メンバーが主体となった水質調査や水生生物調査（小中学生を対象）、カヌー体験や沢登りといった環境学習活動を中心に活動を行っています。

更に平成19年度からは、間伐材や使用済み割り箸等を利用した「木炭・竹炭による水質浄化」の活動も始め、ホタルまつりやふるさと祭りでは会の活動報告も行っています。



交流会での勉強会の様子



「木炭・竹炭づくり」に集まった会のみなさん

・東日本大震災ボランティア活動

交流会で座長を務める澤田憲孝さんを中心とするグループは、東日本大震災発生後にボランティアを募り、4月中旬と5月下旬の2回にわたって宮城県石巻市に赴き、米などの食料援助や被災者宅の後片付け等を実施しました。今回の報告は7月に活動した3回目の復興支援ボランティアの様様をお伝えします。

3回目の出発で用意した物は、約1トンの救援物資や水・簡易トイレ・作業用具の他に、被災した子どもたちのために辞書やノートも用意して被災地へ向かいました。

今回の主な活動は、がれきに覆われた海水浴場や海浜公園の清掃でした。広大な範囲を他のボランティアグループと協力して作業をすすめ、砂浜に広がるがれきの撤去を済ませると、今度は砂に埋もれた大量のがれきが見つかるなど撤去は困難を極めました。それでもなんとか海開きが出来る程度まで回復でき、それから数日後にはそれまで浜から姿を消していた海鳥なども帰ってくる事ができました。

参加した澤田さんは、「被災地での活動は車中泊が基本で、お風呂にも入れない辛い環境だが、被災地での経験は自分たちの町が被害に会った時に必ず役に立つ。防災のために日ごろからすべきことが実感できる。」と話され、「ボランティアはまだまだ足りない。特に若い人に被災地に赴いてほしい。」と願っていました。

交流会では今後もボランティア活動を続けていく予定でボランティアを募集しています。

問い合わせは澤田さん（090-1347-8366）まで。



4月と5月の石巻市の様子。津波によって被災した建物や流されてきたがれきの数々に言葉もありません。



7月の災害ボランティアに参加された方々



畑に積もった土砂の撤去も行いました。



津波で海に流されたがれきは今でも海岸に打ち上げられています。砂浜にはまだ大小様々ながれきが散乱しています。



清掃が完了した砂浜。がれきの量に驚かされます。



遠賀川流域だより

第21号
平成23年8月

遠賀川流域活動報告

◆田川郡◆ 赤村のほたるが教えてくれた事 6月12日(日)

[詳しい記事を見る](#)

その昔、田川郡赤村では、いたるところでホタルの乱舞を見る事ができましたが、近年ではほんの限られたエリアでしか見る事ができなくなりました。

そういった現状を憂いた赤村の有志が立ち上がり、平成9年7月に「赤村ホタルの会」を発足させホタルの保護活動を始めました。平成11年10月には会の活動が認められ村議会で「ホタル保護条例」が採択、行政も活動を後押しています。

会では毎年5月下旬から6月初旬の2週間において、「源じいの森温泉」と共催し「ホタル観賞バスツアー」を開催しています。会のメンバーによるホタル説明会や、生息地までの案内などが好評で、遠くは北九州市や中間市からも参加者が訪れる人気のツアーとなりました。

参加した当日はあいにくの雨。ホタルの乱舞とまではいきませんでしたが、点々と光が舞う様子は神秘的で美しいものでした。



まずは「ホタル説明会」で学習します。



「赤村ホタルの会」の皆さん



赤村の自然学習村「源じいの森」

◆田川市◆ 彦山川清掃とウォークラリー 6月24日(金)

[詳しい記事を見る](#)

6月24日の早朝7時、田川市にある番田橋市民広場の彦山川河川敷において、伊田校区活性化協議会の主催で「彦山川清掃とウォークラリー」が開催され、約200人が参加しました。

このウォークラリーは、彦山川の自然に親しむ活動を介して校区の住民が相互のふれあいを深め、子ども達の健全育成に役立てる「彦山川人づくりフェスティバル」の一環として開催されたものです。

参加者はまず河川敷の清掃活動を行った後、スタンプラリーの台紙をもらってそれぞれのチェックポイント（番田橋→伊田大橋→東大橋）を回る往復約2kmのウォークラリーに参加しました。参加した小学生は、「自分たちで清掃したばかりの河川敷を歩くのは気持ちがいい」とウォーキングを楽しんでいました。



河川敷の清掃活動で集めたゴミ



会場の番田橋市民広場（河川敷）



台紙片手にゆっくりとウォーキング

◆飯塚市◆ 小さな後輩達へのプレゼント 6月27日(月)

[詳しい記事を見る](#)

飯塚市大日寺の鎮西中学校の生徒たちが6月27日、2年前に実をまいたドングリの苗木5本を、同市菰田東の近畿大九州短大附属幼稚園に寄贈しました。

この苗木は、荒廃した山里の再生など環境保全に取り組む「龍王・山・里・川の会」が環境学習の一環として、鎮西中学校の生徒と共に拾ったどんぐりを会のプランターで生育したもので、鎮西中学校が平成28年度から小中一貫校になる事もあり、将来の後輩達との交流を深めようと寄贈することになりました。

この日訪問した生徒会4人のうち3人は園に通った卒園生。かわいい後輩へ「私達も苗木を育てます。どっちの苗木が大きく育つか競争しましょう」と言って50cm程に成長した苗木を手渡すと、園児達18人は「はい！大きく育てます」と元気な声で答えていました。



鎮西中学校の生徒から園児達へ苗木の贈呈



苗木を園庭に植樹



みんなで大切に大きく育てます。

◆田川市◆ 彦山川ペーロン大会 6月26日(日)

[詳しい記事を見る](#)



開会式 ～ 選手宣誓



競技に使用されたのは2艇の災害救助用ボート



今年で3回目を迎えた「彦山川ペーロン大会」は、雨の影響で1週間順延された事もあって参加チームが減少するアクシデントはあったものの、計6チーム約60人が参加して熱戦を繰り広げました。

用意された2艇の災害救助用ボートに老若男女問わず10名のこぎ手が乗り込み、新橋の下流から橋脚を回って戻る300メートルのコースで、2走の合計タイムを競いました。

開催当日会場となった高柳堰（田川市大字橋）は、台風の影響で時折強い風が吹き、船が岸辺や橋脚にぶつかりそうになる中、参加者たちは元気に声を上げながらボートを漕ぎ続けました。優勝したチームは全長600mを約3分という好タイムでゴール。初参加のチームは、漕ぎ手の息を合わせるのに苦労し蛇行を繰り返しながら7分台のタイムがやっとという結果に終わりました。

この大会は、彦山川を直に体験することで「彦山川で遊び、川に親しむことで、川への愛着心を育み、彦山川の水質や河川環境に関心をもつキッカケになれば」と始まった取り組みだそうです。今回参加者の笑顔にふれ目的は大いに達成されたと感じました。



最後の追いこみ えいさ！ほいさ！と息合わせ



優勝したチーム「スバルン5号」



表彰式 入賞おめでとう！

◆中間市◆ 「水の環」を考える取り組み 7月17日(日)、7月30日(土)

[詳しい記事を見る](#)



遠賀・中間地域の1市4町（中間市、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町）で活動する団体が集まり、市町の枠組みを超えて地域づくりを進める「遠賀・中間広域連携プロジェクト推進会議」が主催する「親子カヌー体験教室」が、中間市の遠賀川において7月17、30日の2日間開催されました。

今回のテーマは「水の環」です。水の環とは、降った雨が大地にしみこみ、地下水となって、あるいは植物に取り込まれ、大気に還りといった自然の水の流れと、水道や下水道といった都市生活をささえる人工の水の流れとがバランスのとれた状態をそう呼びます。今回の取り組みは参加者に「水の環」を感じてほしいとの思いで企画されたものです。

まずは初日の7月17日(日) 遠賀町総合運動公園「水辺の広場」に集まり基礎練習のスタートです。最も大切な救命胴衣の付け方や、カヌーの乗り方、パドルの使い方などを教わった後、実際にカヌーに乗ってみっちり基礎練習を繰り返しました。近年川の事故が多発している現状に鑑み、特に子供たちへのレクチャーは入念に行われました。

続く7月30日(土) いよいよ本番です。中間市の中鶴(河川敷)から遠賀橋までは約3.8kmもあり、距離の長さにはいささか不安気味だった子ども達もスタートすればなんのその。すぐに慣れてみんな笑顔で川を下っていきました。今回のテーマは小学生には難しかったかもしれませんが、いつかこの経験が彼らにとって役立つ事があると思います。



救命胴衣はちゃんと着れたかな？



不安と緊張の中、川に入ります



事前のパドルさばきの練習風景

遠賀川河川事務所からのお知らせ～大雨・洪水への備え2～

九州北部で梅雨明けしましたが、台風の接近やゲリラ豪雨での大雨や洪水にはまだ注意が必要です。今回は、パソコンや携帯電話で見る河川水位・雨量情報や河川画像(ライブカメラ)をご紹介します。

1. パソコンで河川画像(ライブカメラ)・河川雨量・水位情報を見てみよう。

遠賀川河川事務所ホームページにアクセスし、「遠賀川ライブカメラ」で今の河川の状況をカメラ画像で、「リアルタイム雨量水位」で遠賀川流域各所の雨量・水位観測所情報を見る事が出来ます。



遠賀川河川事務所ホームページ
http://www.qsr.mlit.go.jp/onga/

リアルタイム雨量水位

2. 携帯電話で河川画像(ライブカメラ)・河川水位・雨量情報を見てみよう。

携帯電話で情報を取得には、①携帯サイトアクセスして情報を見る、②河川情報アラームメールに登録し、メールで情報を受け取る、2つの方法があります。(通信料は利用者の負担となります。また、携帯機種によっては正常に表示出来ない場合があります。)

①携帯サイト



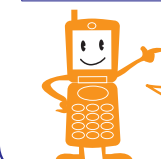
携帯サイト
遠賀川防災情報 QRコード
http://www.2ocn.ne.jp/~onga/mobile_cctv
「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。



九州地方整備局
遠賀川河川事務所
防災情報

ご利用方法
河川のカメラ
レーダー雨量(福岡)
雨量・水位情報(筑豊)
雨量・水位情報(北九州)
避難勧告・指示

12 遠賀川河川事務所(下流)
遠賀川(下流) 水位 19.8m
観測所: 遠賀川(下流)
7/27 11:45 現在 更新



遠賀川流域の河川画像や雨量・水位の状況など様々な情報をリアルタイムで提供しています。

②河川情報アラームメール

九州地方の各観測所で雨量と水位が基準値(下記参照)に達するなどした場合に、携帯メールにてお知らせをしてくれるシステムです。

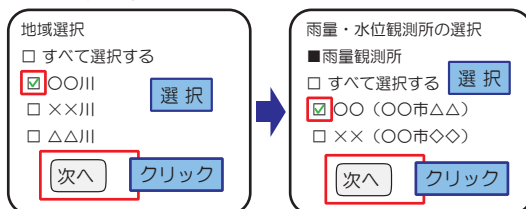
・登録手順

1. 下記のアドレス(QRコード)宛てに空メールを送信して、登録案内メールを受信します。(受信拒否指定、アドレス指定受信設定をされている方はあらかじめ解除をしておいてください。)



河川アラームメール
kasenalarm-entry@qsr.mlit.go.jp

2. 希望する水系と河川を選択し「次へ」、該当する雨量・水位観測所を選択し「次へ」をクリックする。



地域選択
☐ すべて選択する
☒ ○○川
☐ ××川
☐ △△川
[次へ] [クリック]

雨量・水位観測所の選択
☒ 雨量観測所
☐ すべて選択する
☒ ○○(○○市△△)
☐ ××(○○市◇◇)
[次へ] [クリック]

3. 配信を希望する箇所に間違いがないか確認をして、「登録」をクリックすれば完了です。

例：アラームメール

日時: 2011/XX/XX 00:00
タイトル: アラーム基準超過
(河川情報アラームメール)

国土交通省九州地方整備局水害予報センター 河川情報アラームメールです。
あなたが選択している地域において、雨量、あるいは水位がアラーム基準値を超過しました。現在の状況は次のとおりです。URLをクリックすると、詳細情報にジャンプします。
市町村や消防団から避難等の指示があれば、これに従ってください。

■観測日時
***年**月**日**時**分
■雨量状況
下記の雨量観測所が注意値を超えました。
◇◇
△△川
(××市××)
詳細情報はこちら
http://kasenalarm.qsr.mlit.go.jp/push/
雨量レーダー画像はこちら
http://kasenalarm.qsr.mlit.go.jp/push/.....

流域内のイベント等の予定

- | | | |
|-------------|------------------|----------------------|
| ・ 10月 9日(日) | I LOVE 遠賀川 | 【場 所】 |
| ・ 10月 9日(日) | I LOVE 遠賀川 in 嘉穂 | 飯塚市[中之島] |
| ・ 10月 9日(日) | I LOVE 遠賀川 in 稲築 | 嘉麻市[大隈橋] |
| ・ 10月 9日(日) | 山田川クリーンキャンペーン | 嘉麻市[いなつき親水公園] |
| ・ 10月30日(日) | しじみ祭り | 嘉麻市[山田川] |
| | | 大任町六本松[水辺公園(彦山川河川敷)] |

遠賀川流域だより

発行 国土交通省遠賀川河川事務所
住所 直方市溝堀1丁目1-1
電話 (0949) 22-1830
FAX (0949) 22-2859
HPアドレス http://www.qsr.mlit.go.jp/onga/

皆様のご意見、ご感想をお寄せください。



協力 NPO法人遠賀川流域住民の会
電話 0948-22-3535
http://www.ongagawa.jp/